

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-10℃ ～ +60℃	保存温度範囲	-10℃ ～ +60℃	
	電 圧	AC 30 V , DC 42 V	_____	_____	
	電 流	_____ A	適合ケーブル	φ7.5	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電気的 性能	接触抵抗	単位コネクタをDC 1 Aで測定する。	30 mΩ以下 △	○	—
	絶縁抵抗	DC 250 Vで測定する。	1000 MΩ以上	○	○
	耐電圧	AC 300 Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
機械的 性能	コネクタの挿抜力	φ0.57 ⁰ _{-0.003} の綱製ピンで測定する。	挿抜力 0.15 N以上	○	—
	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。 (ロック機構を含む。)	挿抜力 70 N 以下	○	—
	繰り返し動作	1000 回の抜き差しを行う。	単位コネクタの接触抵抗：45 mΩ以下	○	—
	耐振性	周波数 10～ 55 Hz、振幅 0.75mm、加速度 — m/s ² で2時間×3方向試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	耐衝撃性	加速度490m/s ² 、持続時間 11ms、 正弦半波3方向各3回試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	ロック強度	コネクタをカン合した状態でコネクタの カン合軸方向の力を測定する。	離脱力 50 N以上のこと。	○	—
環境的 性能	定常状態の耐湿性	温度 40℃、湿度 90～95 %中に 96 時間 放置する。	①絶縁抵抗：10MΩ以上（高湿時） ②絶縁抵抗：100MΩ以上（乾燥時） ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	温度サイクル	温度 -55℃ → 常温 → +85℃ → 常温 時間 30 → 10～15 → 30 → 10～15 分 を5サイクル試験する。	①絶縁抵抗：100MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水、48 時間放置する。	はなはだしい腐食がないこと。	○	—
	耐熱性 △ △	温度 +85℃中に 96 時間放置する。	破損、ひび、部品のゆる		